

支えあって ふれ合って…

# 絆の杜

No.45

2016. March

社会福祉法人 光道園

## 祝 成人 おめでとうございます



- 表紙 祝成人式  
2 たねのいえ成人式  
3 ライトホープセンター成人式  
4.5 二十歳の思い（新成人職員に聞く）  
6.7 第三光が丘ハウスのお正月  
8.9 光道園 節分  
10 走る男（視覚障害者京都マラソン大会参加）  
11 職員テニスサークルが発足しました  
12 広告・広報紙委員会表彰

# おめでとう

## たねのいえ

# 成人式

今年度『たねのいえ』では、二名の利用者の方が成人を迎えられ、一月二十日に三年ぶりの成人式が開催されました。

成人式では、正装でビシッとキメたお二人が、どこか少し緊張しているようにも見えました。また、事前にも手作りの招待状をお渡しし、お二人のお母様、高等部の恩師、利用されている他事業所の方にも出席していただくことができ、良い雰囲気の様となりました。



式では、祝辞やスライドショー、記念品贈呈といった、地域の成人式でもあるようなことを行っただけでなく、何か『たねのいえ』らしいことで、『成人希喜一発』と『御神酒の儀』も行いました。これは、準備の途中までは、樽の蓋を新成人のお二人に割ってもらい、鏡開きをしようという予定だったのですが、用意することのできた樽が大きく、「中に人が入ったらおもしろいんじゃない?」という何気ない会話から、『黒ひげ危機一発』のように、新成人の方が剣を刺すと樽の中から職員が飛び出すというものに変更されました。当日は、利用者の方がビックリして泣いてしまいましたが、他にはない『たねのいえ』らしさが出せたかなと思います。



また、スライドショーや、その後のお母様からお子様への手紙で、お母様や出席者が涙する場面も見られ、会場が感動に包まれていました。準備の段階から当日まで、「上手く進められるかな?」「喜んでもらえるかな?」などと、不安や心配だらけでしたが、式の後に色々な方から「良い式だった」と言っていただけでほっとしました。何より、沢山の方にお



祝いの言葉をかけてもらっている、お二人の姿を見ることができ、お母様から「こんなに盛大に、成人式をしてもらって、本当にありがとうございました」とのお言葉をいただき、とても嬉しく思いました。成人という一つの大きな節目を迎えられたお二人、改めておめでとうございます。これからもたねのいえでたくさんの思い出を作っていきますよう

文 撮影 たねのいえ 宮下 希 鈴木 昭宏

# 成人

## ライトホープセンター 成人式

「一誠さん。おめでとうございます。」

一月十四日に、新年会と成人のお祝いが行われました。

今年の新年会は、利用者の木村彰さんのお琴演奏から始まり、すぐろくゲームを皆で楽しみ、職員手作りのサツマイモ茶巾絞り、温かいコーヒー、甘酒がふるまわれました。

そんな中、通所で利用されている水島一誠さんが、今年成人式を迎えられました。

盲学校時代の恩師からのプレゼントも届き、突然のことではびっくりされていましたが、とても嬉しそうでした。

これからも、ライトホープセンターでの活動を色々楽しんで下さい。



生まれた時に先生がだめかもと言われその言葉が、今でも忘れません。  
小さい時には、顔色ばかり見ていて毎日が、大変でした。  
おかげさまで皆様の手足をかりまして今は、二十歳になり、見上げるばかりの身長に成り、毎日元気よく通所させていただいています。  
本当に感謝の言葉もありません。  
長い人生 一誠君、色々事が沢山有ると思いますが、  
『一誠君、がんばれ』  
おばばより

「一誠 二十歳の成人おめでとう」  
小さい頃は、よく入退院を繰り返して小学生までは、生きられないだろうと言われていましたが、体も丈夫になり元気になり大きくなりましたね。

これからは、大人になりましたので何でもよく考えて行動してください。

母より

文 | お母さま、おばあさま  
| 援助二課 | 高田 めぐみ

平成28年、光道園では、5名の職員が新成人を迎えました。  
 これからの光道園の新しい時代を担う職員の皆さんです。  
 今回は、新成人の職員の皆さんと荒木園長を交え、二十歳のそれぞれの思いを伺ってみました。

「まずは、二十歳を迎えた皆さんおめでとうございます。今日は、荒木園長にも参加頂いていますが、園長の二十歳の頃はどんな成人でしたか？」

荒木園長：自分が二十歳の時は、県外の大学にいて、弓道部に所属していました。そこでの厳しい上下関係は就職した時に、本当に役に立ちました。

光道園への就職は、大学卒業後の三年目の時。当時、働いていた会社に紙箱の納品に来ていた人達が、光道園の利用者の方でした。

そこで、「手さぐりでこの子らの手をひいて（著：中道先生）」の本を出し、もう一度読み返し、中道先生の熱い思いに触れて、光道園への転職を決めました。入った頃は、先輩職員の利用者の方へのかかわり方等学ぶ点も多かったのですが、それ以上に園内の常識レベルが一般社会と違いすぎた事に凄く違和感がありました。自分は、まだ新人でしたが、違和感を感じた事は、はっきりと声に出して、行動に移してきました。

勿論そこには、相談できる先輩や、自分と同じ思いの同僚の存在が大きかったです。みんなも二年目を迎え、仕事に対する役割と目標を持つてきたころかな。相談できる先輩の存在は大事だし、皆もそんな職員になつて欲しいと思います。



荒木園長

園長から新成人にエールをいただきました。

「ありがとうございます。園長の働くきっかけを教えてくださいましたが、皆さんの自己紹介も含めて、きっかけ等教えてもらえますか。」

前田（ライフトレーニングセンター）：光道園での実習がきっかけでした。実習は障がい者支援施設で、毎日、初めての経験ばかりで大変でした。一年目は仕事を覚える事に一生懸命だったので、二年目になって、担当の利用者の方とのかかわりが楽しくて、やりがいにつながっています。

「前田さんは、さくら館で利用者の

方、職員から成人のお祝いをしてもらったんですね。」

前田：はい。本当に嬉しかったです。



前田 亜沙美さん

表情から光道園での充実度が伝わります。

小林（ライフトレーニングセンター）：自分は、光道園での職場体験やボランティアなどを通じて、福祉の仕事に興味を持ちました。一年目は、戸惑いはかりでしたが、前田さんと同じで、利用者の方とかわる事ではなく、自分の発見があり、今は充実した毎日を通じてしています。



小林 圭佑さん

スイーツ男子。次はきらら館で腕前披露を！

「小林君と言えば、「スイーツ男子」として、食べるだけでなく、お菓子

作りが特技なんですよ。」

小林：お菓子作りは時間があれば作っています。二十歳になってからは、お菓子作りに加えて、友人とのお酒を飲みながら朝まで語り合う事も楽しみになってきました。

園長：フ・クレールで菓子作りの特技を活かす時が来るかもしれねえ（笑）

「山木さんも成人式には、着物を着て第三光が丘ハウスの利用者の方にお祝いしてもらったんですね。」

山木（第三光が丘ハウス）：はい。皆さん本当に喜んでくれました。私もたくさんの方にお祝いしてもらって、思い出に残る成人式になりました。私は、光道園のボランティアスクールがきっかけで働きたいと思いました。まだまだ、戸惑いもありますが、毎日、利用者の方とお話をしたり、色々なかわりが持てるのが本当に楽しみです。



山木 奈々恵さん

女子力高し！終始笑顔で話してくれました。

# 二十歳の思い



一年目は、皆と同じように戸惑いばかりでしたが、今は利用者の方から声をかけていただいたり、誕生日をお祝いしていただき、皆さんの優しさを感じています。



戸田 優紀子さん

落ち着いた口調の中にも、仕事への情熱を感じました。

―戸田さんは、福祉系の学校から光道園に就職したんですね。

戸田（ライトホープセンター）…福祉系の学校に行こうと思ったのは、中学の時の障がい者支援施設の運動会へのボランティアがきっかけでした。一年目は、皆と同じように戸惑いばかりでしたが、今は利用者の方から声をかけていただいたり、誕生日をお祝いしていただき、皆さんの優しさを感じています。

―渡辺さんはぎゅっかけは何でしたか。

渡辺（ライトワークセンター）…私は、祖父がデイサービスを利用して、祖父と職員さんのかかわりを見ていて、福祉の仕事にかかりたいと思いました。実習の時は、緊張ばかりの毎日でした。利用者の方も本当に優しく、たくさん声をかけていただいています。私自身も、毎日の仕事の中で、たくさんの方の事を学ばせていただいています。



渡辺 紗矢さん

4月からは、先輩職員としての大事な役割が待っています。

―皆さんに共通するのは光道園での毎日が充実していること、その思いを支えてくれているのは、利用者の皆さんである事を改めて実感しました。話題は変わりますが、二十歳の若者たちの休日の過ごし方は。

小林…お菓子作りとお酒です！  
前田…休日は、家でゆっくり過ごす事が多いです。

渡辺…私もゆっくり過ごす派です。

―以外に「家」派が多いんですね。戸田…私は、ドライブが趣味です。最近、ミッション車を購入しました！山木…裁縫が趣味で、ぬいぐるみとか作っています。

園長…皆さんには、まだまだ光道園で過ごす時間があります。過ごしていく過程の中では、色々な視点からの考えや捉え方を養っていく事で、皆さんなりの新しい光道園らしさが生まれてくると思います。期待しています！



今年、成人を迎えた皆さんが誕生した二十年前、光道園の歴史を振り返ると、ライトホープセンターが朝日事業所に建築を開始した頃になります。光道園が新たな歴史を刻もうとしている時代に皆さんは誕生しました。光道園は、来年六十周年を迎えます。新しい時代を担う若い職員の皆さんの思いが聞けたこと、そしてその思いには必ず、利用者の方とのエピソードがある事に、新たな時代を迎えようとも光道園の伝統が引き継がれていると感じました。

今回、参加の皆さんは、二十歳を迎え、大人としての自覚と共に光道園の職員としても、新たな自覚を持っている方ばかりです。

光道園の将来を担う若き職員の活躍を期待しています。





# ウスのお正月



今年もよろしくお願ひします。



やっぱ正月はこれやの〜



山下栄養士から「ま、ま もう一杯」



一杯いかがでしょうか



渋い横顔 いけてます

ぐいっと一杯



昔はよう飲んだの



めでたく新年を迎えていただくために、心ばかりのお料理と御神酒を、ご用意致しました。  
カニ、いくら、だて巻き、すこ、黒豆などをお重に詰め、利用者の方に好



# 八ヶ丘光第三

(特別養護老人ホーム)



さしつさされつ…  
栄養士さんも一杯どうぞ



おせちと記念撮影



今年のおせちの出来は  
いかがですか？



酒は百薬の長



いくらとだて巻  
どっちから  
いこうか…



今年は二段重をご用意いたしました



黒豆・かまぼこ・栗きんとん

きな物を召し上がっていただきました。  
「これがないと、お正月じゃない」と、  
御神酒を一気に飲まれる方もおられ、  
和やかで笑いのあるお正月を過ごされ  
ました。

文 管理栄養士 山下 悠  
撮影 高齢福祉二課 職員

# 節分会



今年も光道園の各施設にたくさんの鬼がやってきました！  
可愛い鬼からこわい鬼まで…  
鬼は外～ 福は内～☆



鬼だぞ～！  
(ひかりっこ)



どれどれ… わっ！ 鬼さんだ！  
(ライフトレーニングセンターさくら館)



手作りの作品いろいろ♪  
(ライフトレーニングセンターさくら館)



いや～！こわい！  
(ライフトレーニングセンターきらら館)



鬼に見つかり  
ませんように…  
(たねのいえ)



笑顔がいっぱい！  
大盛り上がりとなりました♪  
(ライトワークセンター)

お面の下には…  
(たねのいえ)



鬼退治！！



ぜんざい作り☆  
心も体もぼかぼかに温まりました  
(デイサービスさざんか)





# 光道園

太巻きを食べて、  
豆まき&お菓子まきをしました  
(光が丘ワークセンター)

鬼もみんな楽しく過ごせた節分会でした♪  
(ライトホープセンター)



どっちがきれい??  
(第三光が丘ハウス)

福の神の登場で、  
久しぶりに元気な笑顔  
を見せて下さいました  
(第三光が丘ハウス)

鬼め〜!  
あっち行け〜  
(ひかりっこ)



鬼は〜外〜  
(第三光が丘ハウス)

赤鬼さん、お疲れさま☆  
(第三光が丘ハウス)

和光会役員勢ぞろい☆  
(第一・第二光が丘ハウス)



こわ〜い赤鬼さんと  
やさしい青鬼さん  
(第一・二光が丘ハウス)

やめて、  
これは鬼?それとも…  
(第一・二光が丘ハウス)



# 走る男

冬の京都を駆けける編



昨年の十一月、ライトワークセンターに一通の手紙が届きました。差出人は、「第三十三回視覚障害者京都マラソン大会実行委員会」からでした。内容は、視覚障害者京都マラソン大会への参加募集要項が同封されていました。ライトワークセンターでは、地元のマラソン大会には、毎年、利用者の方が参加されてきましたが、県外の大会への参加は、初めての経験になります。早速、利用者の方へ参加募集の案内や職員間でも話し合い、結果、一人のランナーに白羽の矢が立ちました。ライトワークセンターの走る男、佐々木儀範さんです。

佐々木さんといえば、毎年、地元のつじじマラソンに参加し、選手宣誓の経験もあり、大舞台での経験豊富なベテランランナーの一人になります。参加に至るまでの最大の敵は、冬の北陸のランナーを苦しめる雪でしたが、今年は、大会の練習を後押しするかのような暖冬で、比較的練習時間を多くとる事が出来ました。

いよいよ、本番当日。二月七日(日)第三十三回視覚障害者京都マラソン大会は、京都市の西京極運動公園陸上競技場にて開催されました。

佐々木さんが、エントリールした種目は、「全盲三キロ」の部です。冬の京都の気候は時に、ランナー達を厳しい環境に追い込みます。山から吹き降ろす、肌を刺すような冷たい



風は、走る男の前に立ちふさがりました。しかし、『走る男』は、「アメニモマケズ、カゼニモマケズ」の精神と、沿道の声援の後押しを受け、冬の京都を駆け抜けました。気になるその結果は……。

ここで、佐々木さんからマラソン大会出場の感想を頂きましたのでご紹介します。

「京都マラソン大会に参加して、大会に、参加しての私の率直な感想を言います。実は、この話が出る前に僕が、あの有名な西京極競技場で走れるなんて信じられなくて、最初は辞退しようかとも思いましたが、仲間や職員の方達の頑張りの言葉で、やってやろうという気持ちになりました。私を練習や伴走者として、影で支えてくれた曼山さんに感謝したいです。また、大会前に、電話で「がんばれよ。」と励ましてくれたお父さんありがとうございます。大会当日は、雪がちらついていたのですが、何とか無事に三キロを完走できました。道中は、沿道の人の応援や、放送席のアナウンサーも私のことを紹介してもらい、熱い声援を送ってくれた事を思い出すと、今更ながら涙がでます。走り終わって思ったことは、「マラソンに障がいや年齢なんか関係ないんだと、六十歳でも走れるんだ。」と思いました。この経験をバネにしてこれから走り続けたいと思います。

佐々木 儀範

そうです！無事に完走する事ができました。佐々木さんの実績から見れば、当然の結果ですが、全国高校駅伝などが開催される聖地「京都」が、走る男の背中を後押ししてくれたと思います。

その日、別府大分マラソンにて、リオパラリンピック代表を目指し、視覚障がいランナーが走っていました。何か、運命的なものを感じ、目指すものは違えども、その日、その時間を共有できた事に、何か感動を覚えてしまいました。



最後に、佐々木さんの言葉をアレンジして閉めさせてもらいます。「スポーツに障がいや年齢なんか関係ないんです。」この記事を読んで皆さん、身体がうずうずしてきたら、一緒に走りませんか。

文 セルブ一課 曼山 法広  
撮影 セルブ一課職員

# 「光式テニスクラブ」 ついに始動！

～クラブの伝統を引き継いで～



はじめまして！光道園テニスサークル「光式（こうしき）テニスクラブ」です。硬式テニスと光道園の光という文字をかけてこのクラブ名になりました！去年度から発足し、平日の夜八時～十時に集まって活動しています。現在、部員は女性九名・男性八名合計十七名です。テニス経験者も、未経験者の方もいますがみんな楽しく練習に励んでいます。私が、テニスを始めたのは高校生の時でした。当時は学校の部活だけではなく、地元のテニスサークル（一般、社会人クラブ）でも活動していました。テニスサークルでの活動は、現在も続けており、そこで多くの方と出会い、楽しむだけでなく、テニスを通して人生話などで学んだ事も多いと感じています。

テニスは、年齢を重ねても楽しめ、健康のためにもとても良い生涯スポーツです。



「光式テニスクラブ」は、経験年数は違えどもテニスの楽しさや良さを知っているメンバーばかりです。週に一度の活動は、楽しくが基本で、みんなとワイワイしながら活動しています。光道園には、野球、ゲートボール、釣りのクラブがあります。どのクラブも職員交流の場をモットーに活動してきました。新たに誕生した「光式テニスクラブ」も先輩クラブと想いは同じです。「光式テニスクラブ」では、普段は事業所も、所属の課も違う職員が、一つのボールを打ち合う事で皆さんのコミュニケーションを取る事ができています。まだ、誕生して間もない「光式テニスクラブ」は、「勝利優先主義」ではなく、「楽しさ優先主義」で活動していきたいと思えます。

文・撮影 療護二課 木原 翔太

# おかげ様で表彰をいただきました。 ありがとうございます。

昨年12月、光道園が作成している広報紙「絆の杜」が、『ふくし広報コンテスト2015広報誌部門Ⅱ・施設分野の部』において「最優秀賞」をいただきました。



これからも  
皆さんに楽しんで  
いただける広報紙を  
お届けしますッ！

広報紙  
委員会一同



## 手づくり工房 フ・クレール

おかげ様でオープン3周年を迎えました。そこで4月10日(日)、3周年オープンを開催します。当日はゲームコーナーなどお楽しみイベントもご用意していますので、焼きたてのパンを是非食べに来て下さい。



越前和紙を使ったポチ袋や祝い袋、おふくわけ袋なども作り始めました。ご会合・ご宴会などの際のおやつに、フ・クレールのクッキー・お菓子と合わせて、是非ご利用ください。



ポチ袋・祝い袋  
1枚 80円



おふくわけ袋  
1枚 100円

手づくり工房 フ・クレール  
〒916-0146 丹生郡越前町朝日1丁目504番地  
TEL (0778) 34-8801 FAX (0778) 34-8831

## のぞみ工房 陶華星

今回は、新商品の「のぞみ焼き そば鉢」を紹介させていただきます。

手づくりの風合いを残しつつ、多くのご注文に対応できるよう、構想に1年、製造に3年を掛けてロクロ専用の型を開発しました。根強い人気商品で、蕎麦を打つお客様やお蕎麦屋さんからもたくさんのご注文を頂いております。

陶華星自信作のそば鉢で福井名産『おろし蕎麦』を召し上がっていただければ、いつもよりワンランク上の味になること間違いなし！



のぞみ焼き そば鉢 1,500円

のぞみ工房 陶華星  
〒916-8585 鯖江市和田町9-1-1 光道園ライトワークセンター内「陶華星」  
TEL (0778) 62-8103 FAX (0778) 62-3775

### 社会福祉法人 光道園

社会福祉法人 光道園 法人本部  
鯖江市和田町9-1-1

障害者支援施設 ライトワークセンター  
鯖江市和田町9-1-1

障害者支援施設 光が丘ワークセンター  
丹生郡越前町朝日22-2-2

障害者支援施設 ライトホープセンター  
丹生郡越前町朝日22-3-1

障害者支援施設 ライトレーニングセンター  
鯖江市和田町9-1-1

日中生活介護事業 たねのいえ  
鯖江市和田町9-1-1

障害者支援センター こうどうえん  
鯖江市和田町9-1-1

養護老人ホーム 第一光が丘ハウス  
丹生郡越前町朝日22-7-1

養護(盲)老人ホーム 第二光が丘ハウス  
丹生郡越前町朝日22-7-1

特別養護老人ホーム 第三光が丘ハウス  
丹生郡越前町朝日22-7-1

通所介護事業所 デイサービスセンターさざんかホール  
丹生郡越前町朝日22-7-1

訪問介護事業所 ヘルパーステーションさざんか  
丹生郡越前町朝日22-7-1

居宅介護支援事業所 さざんかホール  
在宅介護支援センター さざんかホール  
丹生郡越前町朝日22-7-1

越前町障害者支援センター さざんか  
丹生郡越前町朝日22-7-1

共同生活援助事業所 とらいと  
丹生郡越前町朝日1-505

就労支援事業所 フ・クレール  
丹生郡越前町朝日1-504

<http://www.kodoen.or.jp/>

光道園

検索